

技能検定に於ける検定内容詳細



【使用薬剤】 NPO法人日本ヘアカラー協会 / 協賛メーカー薬剤使用
(協賛メーカーはJHCAホームページより参照)

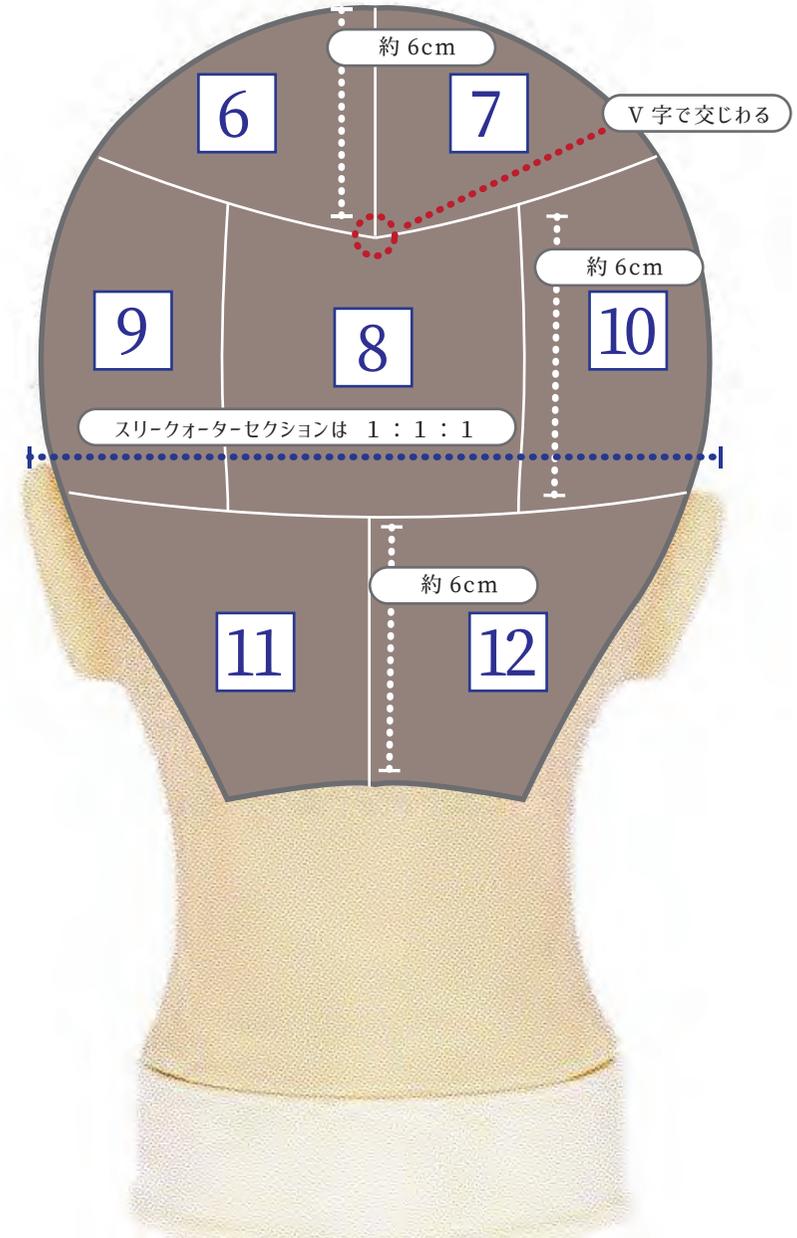
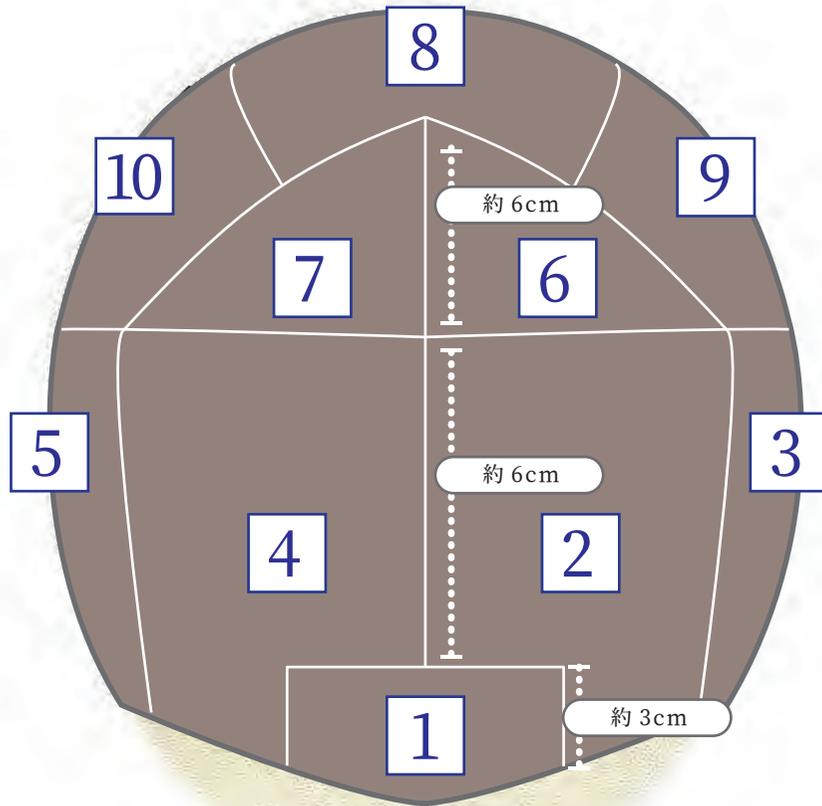
トレーニングクリームを水で希釈、または原液で使用
(薬剤規定に従ってください)

【内容】 ①セクションング (5分)
規定の12セクション

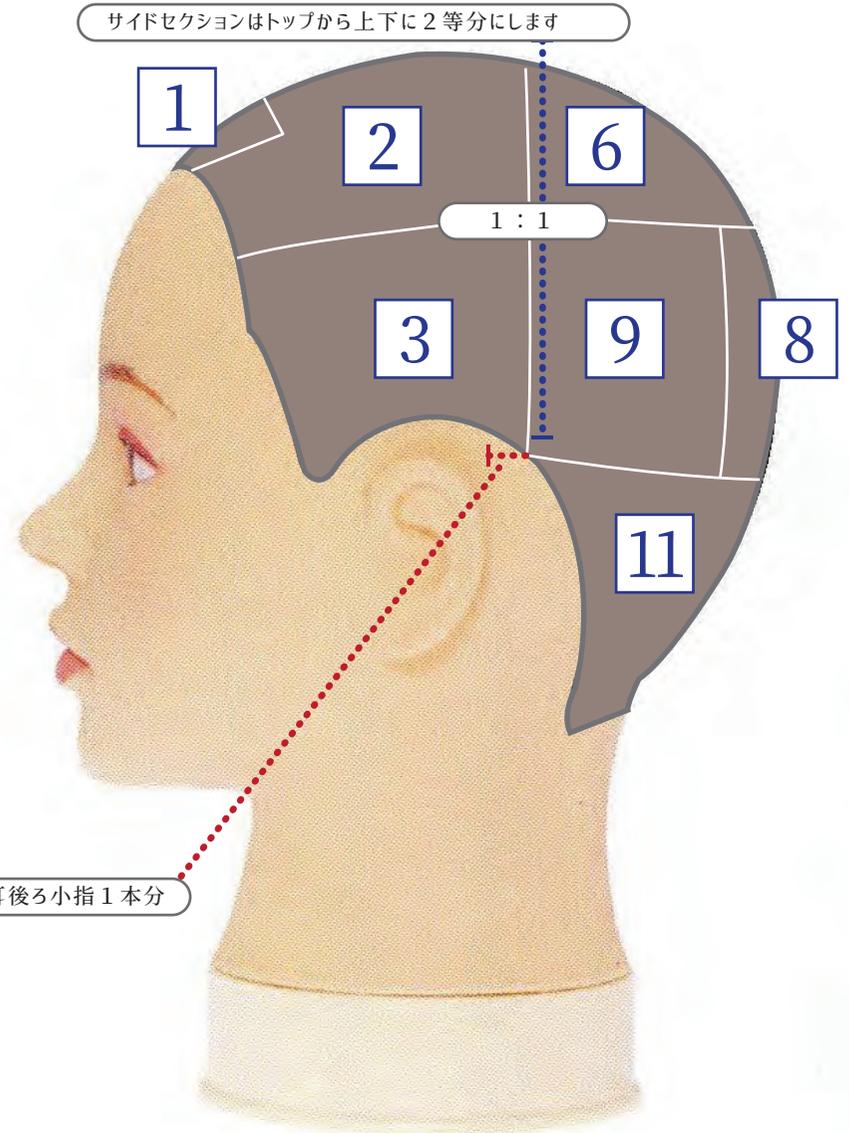
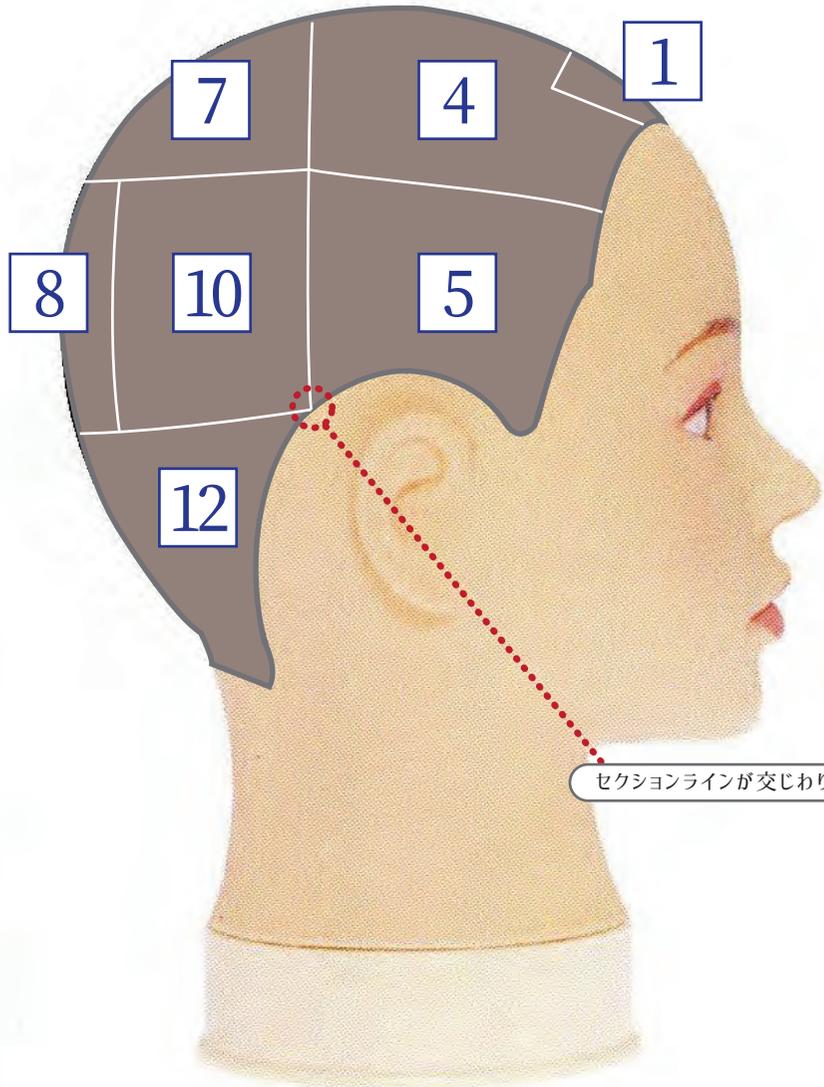
②ウイーピング 69枚以上
<深さ=3mm 幅=3mm・間隔=7mm> (40分)
ホイル使用のこと (サマルペーパー等は不可)

【ウィッグについて】

- ・ウィッグ (レジーナEX-7または337S 2016年以降製造のもの)
バージン毛の状態で使用のこと
- ・20cmの長さでセイルレイヤー、ノーセニング
- ・ドライ、ノーパート、オールバックシェイプ、の状態よりセクションングスタート

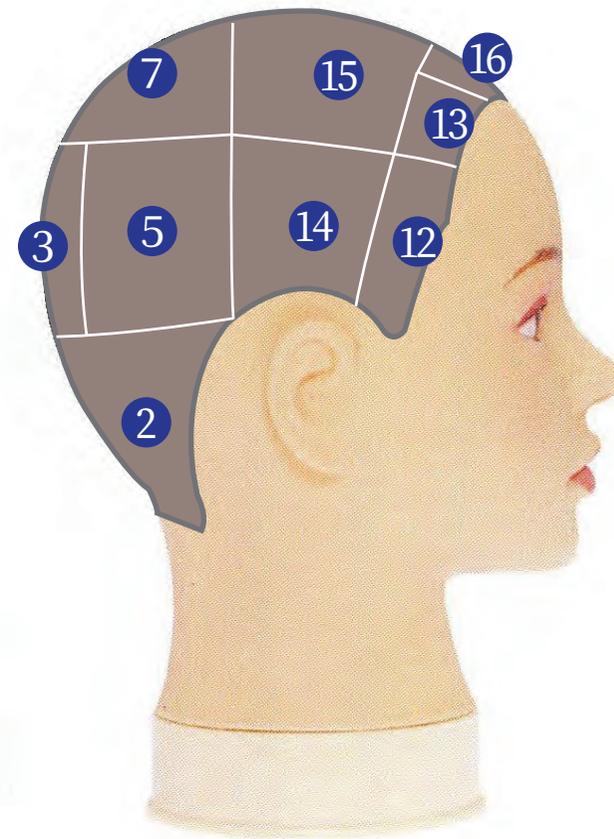
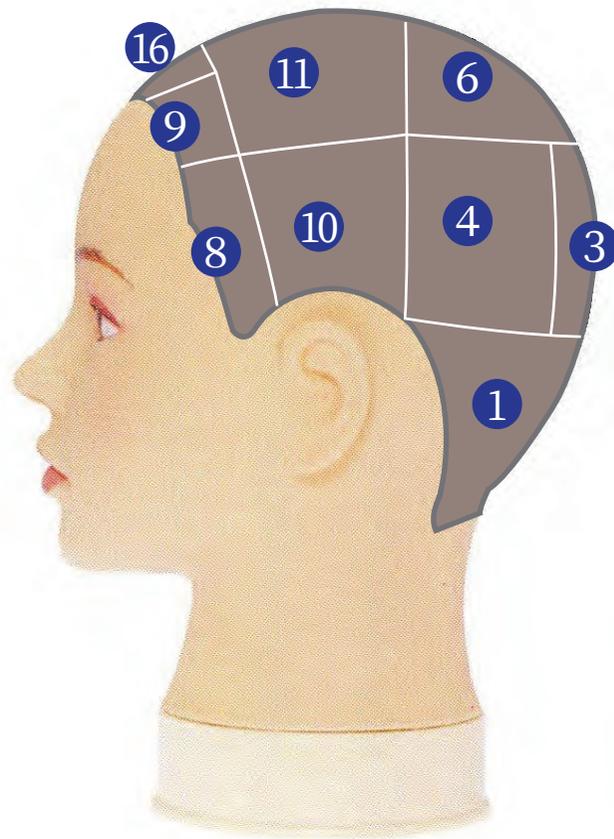
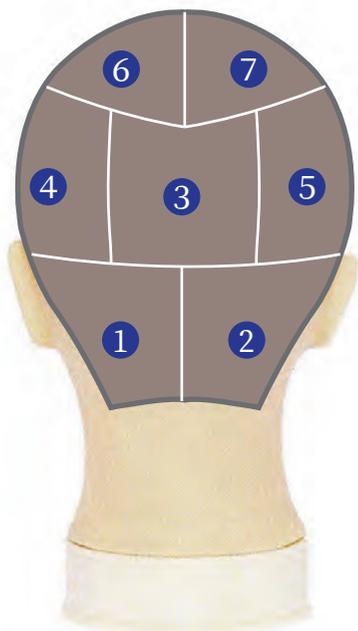
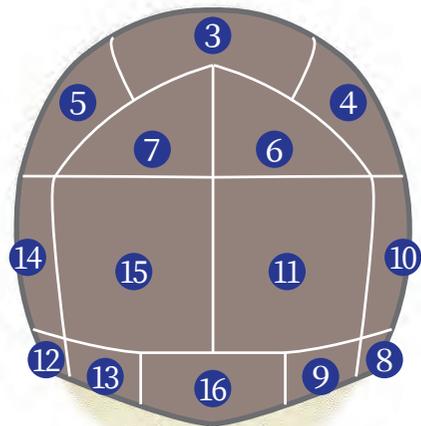


- 1 (フロントボックス) …センターパートを中心に、奥行約 3 cm、幅約 6 cm で取る。
- 2 3 4 5 (サイドセクション) …両サイドをアイ・トゥ・アイで分けとり、上下 2 等分にする。
- 6 7 (トライアングルセクション) …トップをセンターで分け、トップから左右を三角形にセクションング。
- 8 9 10 (スリークォーターセクション) …ミドルセクションを 3 等分にし、8 をセンター、9 10 はアイ・トゥ・アイにつなげる。
- 11 12 (ネブセクション) …センターで 2 等分にする。セクションング試験時間は 5 分です。



ホイルワーク・ウィービング

ホイルを収める、塗布の順番について

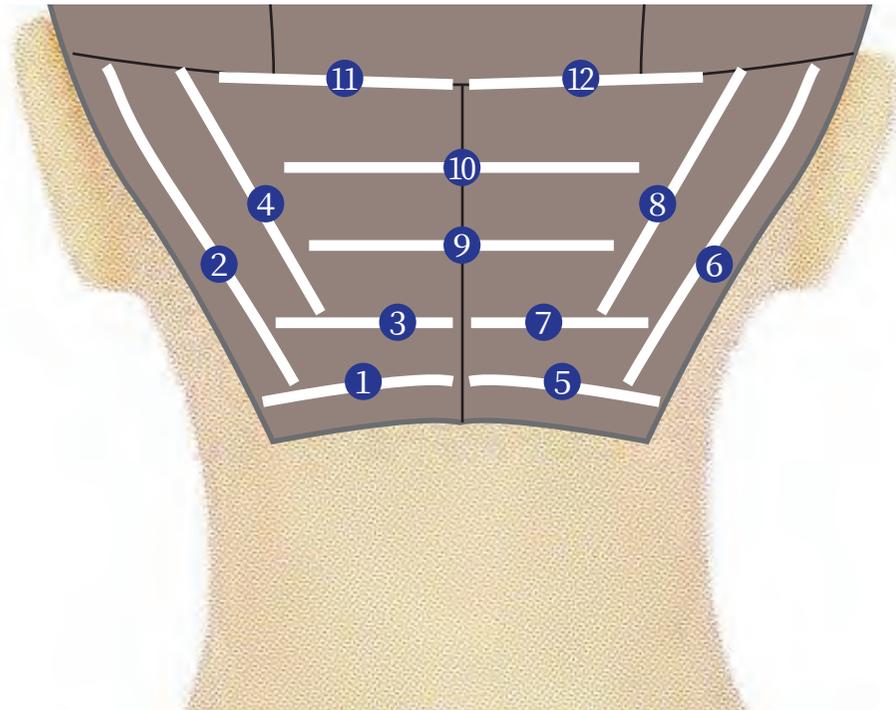


ウィービング・ホイルワークにおける塗布の順番の基本を示しています。セクションの取り方、番号とは塗布、ホイルワークの順番は異なります。
(ネーブセクション) から (フロントボックス) まで
深さ=3mm 幅=3mm 間隔=7mm 40分間で69枚ホイルワークを行います。

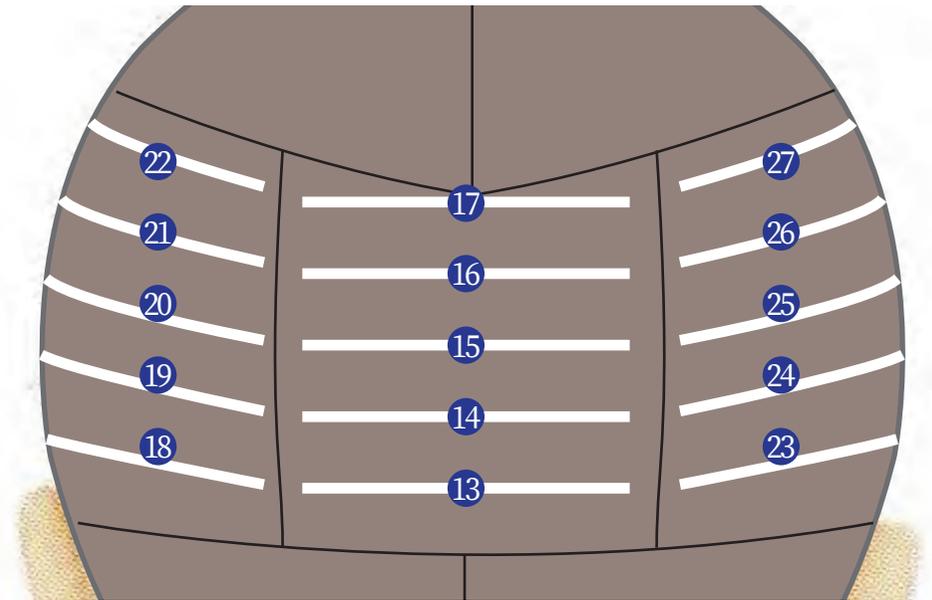
ホイルワーク・ウィービング

ホイルを収める、塗布の順番について (ネブセクション・スリークォーターセクション)

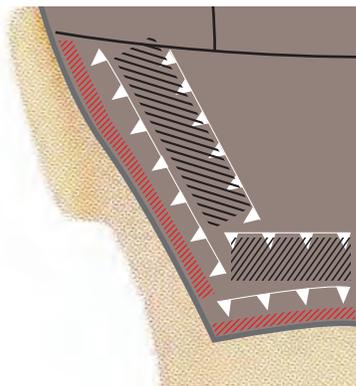
(ネブセクション 12枚) スライス詳細



(スリークォーターセクション 15枚) スライス詳細



11 **12** (ネブセクション) カバーリング、スライス幅詳細



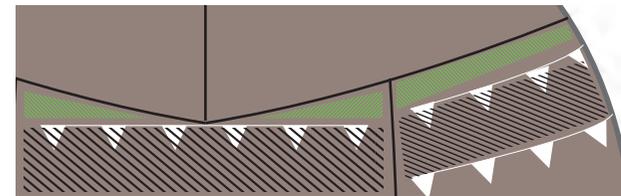
1 **2** **5** **6** 直線ではなく、ヘアラインに平行な5mmのスライスを取り<深さ=3mm 幅=3mm 間隔=7mm>のウィービングをします。下に残る2mm分がカバーリングになります。



3 **4** **7** **8** より上の部分は厚さ1cmのスライスを取り<深さ=3mm 幅=3mm 間隔=7mm>のウィービングをする。

<注釈> ウィッグにより(検定は2016年度以降製造337S)ヘアラインやフェイスラインが多少作りが異なることがあります。新ヘアカラー入門P55写真の様にヘアライン、上図の**2**と**6**のスライスを2枚に分ける場合があります。その場合、合計71枚の構成で完成させます。

8 **9** **10** (スリークォーターセクション) カバーリング、スライス幅詳細



全て厚さ1cmスライスでセンターのセクションから同様に、ウィービングを<深さ=3mm 幅=3mm 間隔=7mm>で5枚づつ **8** → **9** → **10** とホイリング上のセクションはホイルが入れづらいので、しっかりオンベースに引き上げる。

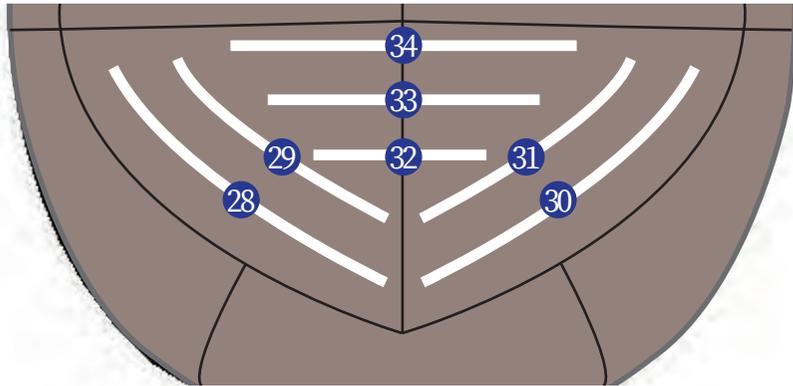


スリークォーターの**8**セクション(センター)は端の余った毛**9** **10**のセクションは余った毛、約2mmを残します。

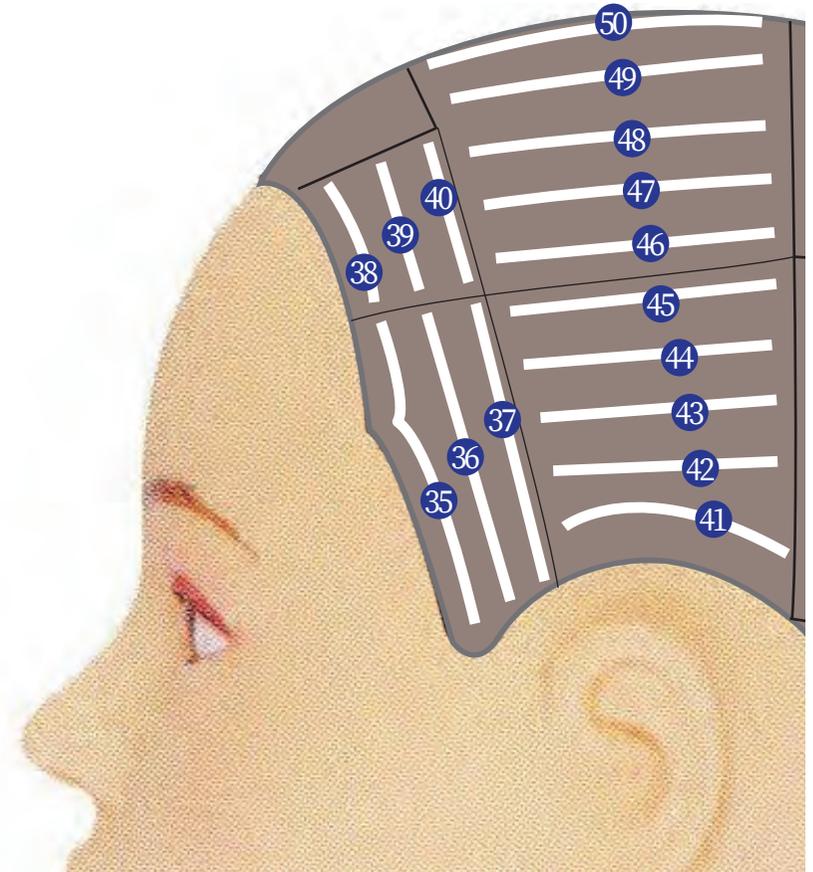
ホイルワーク・ウィービング

ホイルを収める、塗布の順番について (トライアングルセクション・サイドセクション①)

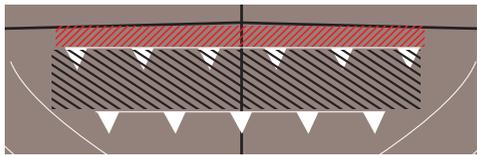
(トライアングルセクション 7枚) スライス詳細



(サイドセクション (左 16枚) スライス詳細



6 **7** (トライアングルセクション) カバーリング、スライス幅詳細



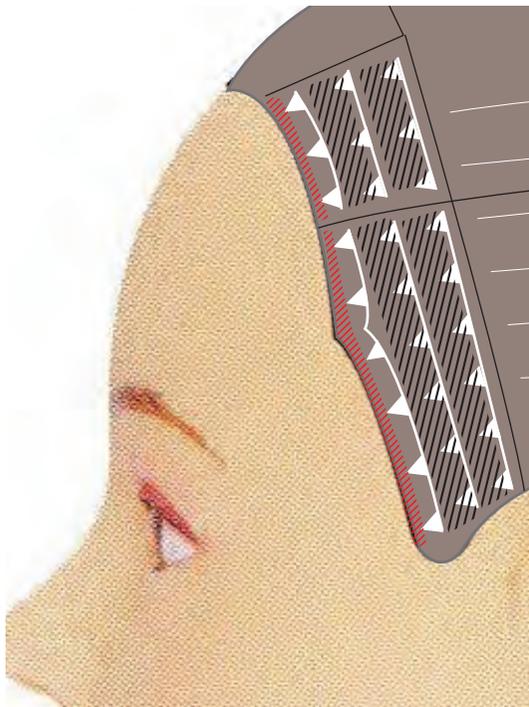
6 のセクションはセクションラインと平行なスライスを取り、同様に＜深さ3mm、幅3mm、間隔7mm＞のウィービングを取り薬剤を塗布。**7** も同様に行います。(スライスは同様に1cm)

5枚目から **6** **7** を合流させ、頭頂部に向かって3枚入れます。

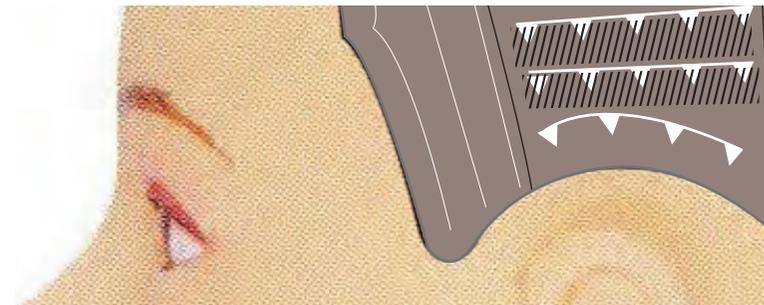
上のセクションはホイルが入れづらいので、しっかりオンベースに引き上げる。

上の図、 のように頭頂部に表面2mmのカバーリングを残します。

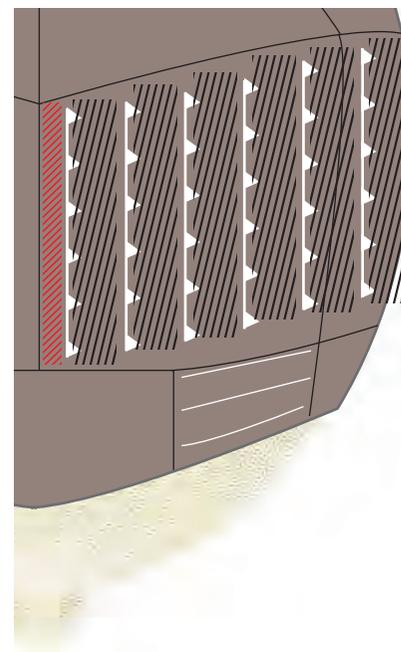
2 **3** (サイドセクション) カバーリング、スライス詳細



3 はフェイスラインに沿った厚さ5mmのスライスを引き出し、<深さ3mm、幅3mm、間隔7mm>のチップを取り2mmのカバーリングを  上の図のようにフェイスラインに残します。角度がズレやすい部分なので注意します。
2 線目からは厚さ1cmのスライスで取ります。 (上の図参照)
この要領で **3** に3枚、**2** に3枚。フェイスラインは計6枚入れます。



3 は耳の上のフェイスラインに沿った厚さ1cmのスライスを引き出し、<深さ3mm、幅3mm、間隔7mm>のチップを取り、ウィービング。
この要領で順次上まですべてオンベースで収め、サイドはトップまで計10枚入れます。

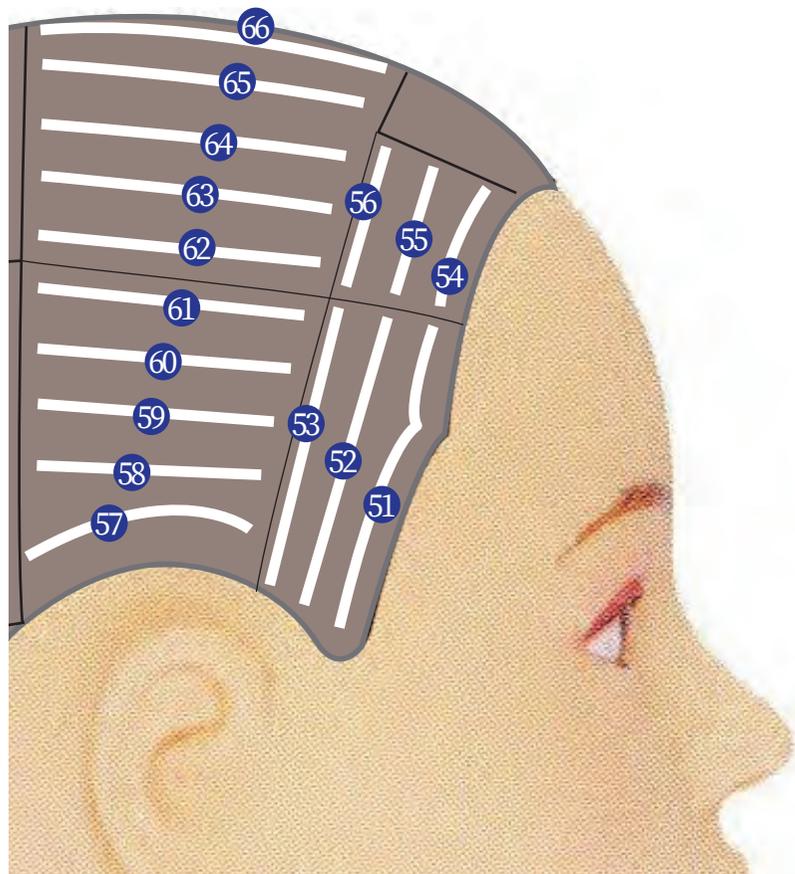


2 上のセクションはホイルが入れづらいので、しっかりオンベースに引き上げる。
最後トップに残った2mmがカバーリングになります。

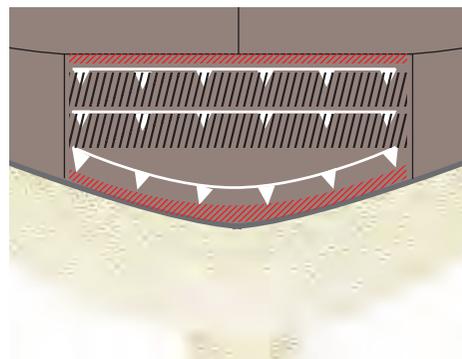
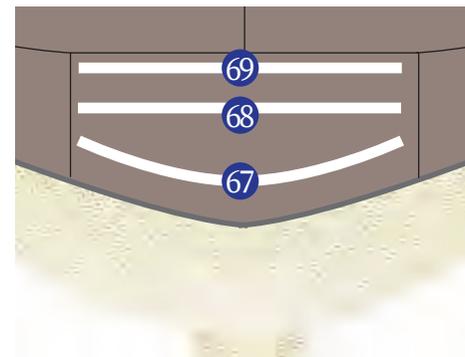
ホイルワーク・ウィービング

ホイルを収める、塗布の順番について (サイド-セクション③、フロントボックス)

(サイド-セクション (右 16枚) スライス詳細



(フロントセクション 3枚) スライス詳細



- 1 はフェイスラインに沿った厚さ5mmのスライスを引き出し、
<深さ3mm、幅3mm、間隔7mm>のチップを取り、
フェイスラインに余った2mmのカバーリングを残します。
( 左図参照)
2線目からは厚さ1cmのスライスで取ります。
( 左図参照)
フロントボックスは計3枚入れます。
余った2mmがフロントボックスのカバーリングになります。 

4 5 セクションは逆サイドと同様に行います。

フルヘッドのウィービングは40分69枚で終了。全てのホイルを入れ終わったら、テールを使って、顔周りのホイルを上
折り上げ、顔にかからないようにして終了です。